

地域・社会との共生

快適で豊かな地域・社会の実現と、その持続的な発展を目指し、
 良き企業市民として、地域・社会の皆さまとの協働による共生活動を推進します。

地域・社会共生活動の更なる充実へ向けた取組み

地域・社会共生活動推進体制の充実

当社は、「地域・社会共生活動基本方針」に基づき、九州各地において、魅力ある地域づくりや次世代層の育成に資する取組みとして、積極的に地域・社会との共生活動を展開しています。

また、各事業所の取組状況や課題等の情報共有を行い、部門横断的な検討を行う体制として、地域・社会共生活動連絡会議を開催し、各活動の充実を図っています。

今後とも、地域の皆さまとのコミュニケーションや協働での取組みなどを通じて、お寄せいただいた声を活動や方針に反映させ、地域の皆さまとともに地域課題の解決に向けて取り組んでいきます。

地域・社会共生活動基本方針

九州電力は、快適で豊かな地域・社会の実現と、その持続的な発展を目指し、以下の原則に基づき、良き企業市民として、積極的に地域・社会共生活動を推進します。

- 1 「地域振興」「文化・芸術」「スポーツ」「学術・教育」「社会福祉」「健康・医療」「国際交流」「環境保全」の分野で、魅力ある地域づくりや次世代層の育成などを行うとともに、地域・社会の課題解決に向けた取組みを行います。
- 2 当社の持つ経営資源を有効に活用した取組みを行います。
- 3 活動内容を公表し、皆さまとコミュニケーションを図ることにより、その声を諸活動に反映させるとともに、地域・社会の皆さまとの協働を進めます。
- 4 従業員が一市民として行う共生活動を支援します。

2010年度 CSR 行動計画における定量目標設定

CSR 行動計画において、お客さま満足度の向上を目標に掲げています。(P.26参照)

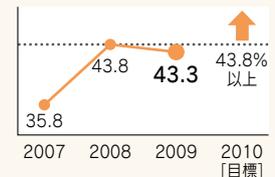
- お客さま満足度調査のうち、次の2項目の「一般家庭」の満足度

満足度：5段階評価のうち、「1. そう思う」、「2. まあそう思う」と回答した人の比率

①「九州電力は地域経済・文化の活性化に貢献しているか」

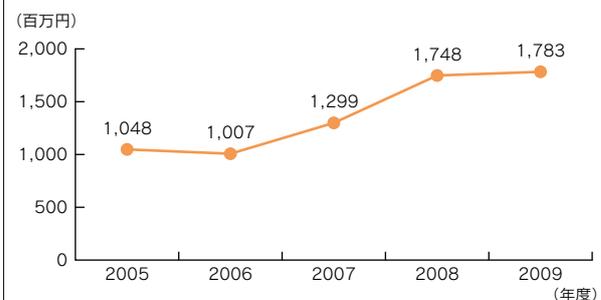


②「九州電力は地域の活動、行事、ボランティア活動等に積極的に協力しているか」



(目標値は、過去の最高値以上を設定)

▼地域・社会共生活動に関する支出額推移



※寄付、メセナ活動、地域振興、スポーツ支援、ボランティア費用の合計額。
 (環境会計に計上される費用を除く)

2009年度寄付金支出額実績

15億4,600万円

(環境会計に計上される費用を含む)

従業員が行う共生活動への支援

従業員が積極的にボランティア活動に取り組めるよう、ボランティア休暇制度(年間7日)や活動費用補助、掲示板等での情報提供、啓発活動など、環境づくりと支援を行っています。

また、「地域社会貢献者表彰制度」では、長年にわたり地域社会への貢献活動を行っている従業員を表彰しています。

その他、資格取得に対する費用補助も行っています。

年 度	2007	2008	2009
ボランティア休暇取得実績(日)	262	278	199.5
地域社会貢献者表彰(人)	37	30	32
資格取得に対する支援実績(人)	32	47	32

TOPICS

ボランティア事例集の作成による 啓発活動 ～北九州支店の取組み～

北九州支店では、支店内の従業員の皆さんが取り組むボランティア活動について、広く支店内へ周知するため、「笑顔をつなごう」と題したボランティア活動の事例集を作成しました。

この事例集を通じて、ボランティア活動の更なる活性化を図るとともに、職場一体感醸成の一助となることを期待しています。



TOPICS

使用済割り箸回収リサイクル活動 ～宮崎支店の取組み～

宮崎支店総務部では、職場内でできる身近なボランティア活動として、昼食時に使った「使用済割り箸」の回収リサイクル活動に取り組んでいます。

回収した割り箸は洗浄し、管内にある王子製紙(株)日南工場で紙の原料として生まれ変わります。

気軽に参加できる地球環境に優しい活動ということで、事業所内のボランティア意識の啓発にも繋がっています。



TOPICS

ラブアース・クリーンアップ2009への参加

ラブアース・クリーンアップとは、「地球環境と地域行動」を合言葉に、市民・企業・行政の協働で、福岡市を中心に九州・沖縄・山口の各県で海岸・河川・公園等の散乱ごみの回収を行う「地球環境美化活動」です。

当社も各事業所から多くの社員がボランティアとして参加しています。

北九州地区事業所	参加者：229名
福岡地区事業所	参加者：120名
佐賀地区事業所	参加者：20名



【主催者の声】



92年に開催された「ローマ・クラブ福岡会議イン九州」を契機に始まったラブアース・クリーンアップも18回目の開催となり、その間にご参加いただいたボランティアの皆さまは1千万人を超えました。

多くの企業からも家族ぐるみでご参加いただいているため、たくさん子ども達が地球環境について考えるきっかけとなっています。

このような体験を通して、地球環境に優しい行動の輪がさらに広がっていくことを願っています。

【ラブアース・クリーンアップ福岡地区実行委員会 会長 三角 格】

地域の声を反映した積極的な共生活動の展開

魅力ある地域づくりへの取組み

● 地域活性化・地場産業支援

各支店において、自治体等との協働によるより良いまちづくりに向けたシンポジウムの開催や、地域に根ざした地場産業振興のための物産品展開催など、地域の活性化に資する活動を展開しています。

TOPICS

まちづくりシンポジウム in 水俣 ～水俣流・環境モデル都市づくり～(熊本支店)

熊本支店では、国の環境モデル都市に認定された水俣市において、「まちづくりシンポジウム in 水俣」を開催しました。当シンポジウムには、市制施行60周年記念事業の一つとして水俣市のご協力もあり、市内外から環境問題に関心の高い150名の方にご参加いただきました。

基調講演では、親しみやすいキャラクターで人気のお天気キャスター森田正光さんに、身近なお天気を題材に、環境問題について分かりやすく解説いただきました。

続くパネルディスカッションでは「水俣流・環境モデル都市づくり～取り戻したい『丁寧な暮らし方』」をテーマに、水俣市内外で活躍されている企業、市民の皆さま等の活動を紹介いただき、丁寧な暮らし方が環境問題の解決につながるとの議論を深めました。



● 伝統工芸産業支援

当社は、経済産業省が主催する「伝統的工芸品産業功労者等表彰」制度に基づく、「優良団体賞」を受賞しました。これは、長年に亘る各支店での伝統工芸産業支援や1996年から実施している「若手工芸家国内外派遣研修制度」(2009年度までに49名を派遣)などを評価いただいたもので、1999年の同賞受賞以来2度目の受賞となりました。今後とも、九州の伝統的工芸技術の維持継承と保存、また、九州の貴重な地場産業のひとつである伝統工芸産業及び産地の振興を図るため、積極的な支援を行っていきます。

TOPICS

くらしの中の竹工芸展(大分支店)

大分支店では、伝統的工芸品である「別府竹細工」の振興を支援しており、別府市において開催された第46回「くらしの中の竹工芸展」を共催し、特別賞「九州電力(株)メセナ賞」を設け表彰を行いました。

この工芸展は、「竹の器と暮らす心豊かな生活」をテーマに、生活に潤いをあたえる豊かな造形と伝統の技を兼ね備えた新しい竹工芸品を顕彰することにより、別府竹工芸の振興を図ることを目的としています。

会場では、造形美術のような作品から、花器、ハンドバッグ、照明器具といった日用品まで幅広い作品が展覧されました。



TOPICS

伝統工芸作品展と陶芸教室(北九州支店)

北九州支店では、経済産業大臣指定の伝統的工芸品である「上野焼」を中心とした伝統工芸作品展を開催しました。作品展には約50点の「上野焼」と福岡県指定民工芸品の「孫次胤」^{まごじだご}、「八朔の馬」^{はっさく}、「英彦山がらがら」^{ひこさん}などを展示し、県内外から多数のお客さまにご来場いただきました。

また、2009年度からの新たな取組みとして、上野焼の工芸家の方を講師とした「親子陶芸教室」を同時開催し、伝統工芸を身近に感じていただく機会を提供しました。参加者は、陶芸家のアドバイスを受けながら、手回しろくろの上で花瓶や茶碗作りに挑戦しました。



●地域のまつりへの参加

地域文化保存の一環として、また、地域の皆さまとの絆を深めるため、各事業所やグループ会社の社員が地域のまつりへの参加・運営を行っています。

2009年度活動実績

参加者数：4,526名



長崎ペーロン選手権大会(長崎支店)

●地域のスポーツ大会への支援

地域におけるスポーツ活動の活性化及びレベルの向上を図り、明るく健康的な地域社会の形成を目指して、子どもからお年寄りの方まで幅広い層を対象とした地域のスポーツ大会を支援しています。

2009年度スポーツ大会支援実績

77事業所、102大会、22種目、参加 約46,000名



少年ソフトボール大会(福岡支店)

●お茶の間論文・エッセイ募集

各支店と地元新聞社との共催で、様々なテーマについて自らの体験や出来事を綴ったエッセイ募集を行っています。

2009年度活動実績

応募作品数：8,651編



作品集(佐賀支店)

TOPICS

「子どもの村福岡」への支援

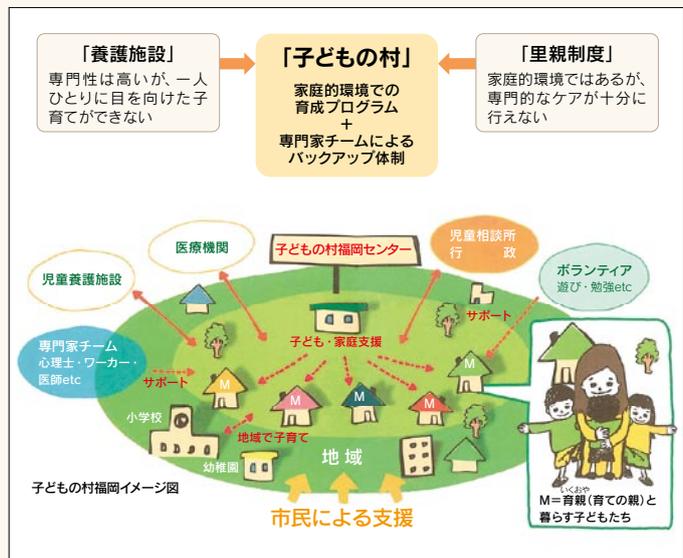


「すべての子どもに家庭を」をスローガンとするNGO「SOSキッズ」は、家庭を失った子どもたちを救い、新しい家族のもと子どもたちを養育していく活動を行っています。「子どもの村 福岡」は、世界で133か国目のSOSキッズとして、行政や企業、市民など幅広い支援を受け、2010年4月に福岡市西区に開村しました。

当社も、子どもたちの健全な育成環境の醸成に資することを願い、「子どもの村福岡」の後援企業として、チャリティイベントなど支援活動を企画・実施するほか、募金活動への協力など「子どもの村福岡」との協働に取り組んでいます。

お問合せ先

特定非営利活動法人 子どもの村福岡
〒810-0042 福岡市中央区赤坂2-3-1-2F
TEL: 092-737-8655 FAX: 092-737-8665
E-mail: fukuoka@cv-f.org URL: http://cv-f.org/



次世代層育成の取組み

～九州パワーアカデミー～

九州域内の大学・高等専門学校及び企業の人的ネットワークを形成し、九州域内ひいてはアジアの電気工学を支える技術者・研究者の育成や魅力ある電気工学を創出するとともに、産学の発展に貢献することを目的として、2009年6月に設立しました。



第1回九州パワーアカデミー総会(2009年12月10日)

【主な活動】

- 次世代層に対する「小中学校向けもの作り講座」や「環境・エネルギー教育」の実施
- 産学の交流促進のための「シンポジウム」や「産学連携フェスタ」の開催

～次世代支援プロジェクト「九電みらいの学校」～

九州の子どもたちに、エネルギー・環境や文化・芸術等に関する学びや出会いの場を提供し、子どもたちの好奇心を刺激するとともに感性を豊かにすることを目的に、九州各地で様々な活動を展開しています。

【2009年度活動実績】



九電みらいの学校	エネルギー 環境 サイエンス	出前授業 497回実施(参加者数: 18,484名)
		こども科学研究室 8回開催(参加者数: 2,235名)
		エコ・マザー活動 297回実施(参加者数: 21,469名)
		探Qサイエンス(TV番組提供) 40回放送
	文化 芸術 スポーツ	作文・絵画募集 作文: 8,272編、絵画: 10,992点
		九電ふれあいコンサート 8回開催(来場者数: 7,756名)
		ラグビー教室 16回開催(参加者数: 2,643名)

●エネルギー・環境・サイエンス

将来を担う次世代層を対象に、当社社員が学校等を訪問し、電気をつくる仕組みや省エネ、環境等について授業を行う「出前授業」や、大学教授の講師による科学実験や著名な若手科学者とのワークショップを行う「こども科学研究室」など、様々な活動を行い、子どもたちのエネルギー・環境問題等への関心を育てています。



当社が出前授業を行った大牟田市立明治小学校からの感謝状受領(本店、福岡支店)

TOPICS

九州一受けたい授業(福岡支店)

福岡支店は、2009年7月25日、九州エネルギー館で「九州一受けたい授業」を開催しました。

このイベントは、小学生を対象にエネルギーや環境、科学など、夏休みの特別授業として実施しているもので、魅力的な講師陣をお迎えしています。

今回は、「環境(講師: さかなクン先生)」、「算数(講師: ピーター・フランクル先生)」、「科学(講師: 境智洋先生)」をはじめ、10科目による盛りだくさんのプログラムで、約5,300名の方々にご来場いただきました。



●文化・芸術・スポーツ

作文募集や絵画コンクール、九電ふれあいコンサートなど、各支店で地域に密着した独自の活動に取り組んでいます。

●九電ふれあいコンサート

九州における音楽文化向上を目的とし、九州唯一のプロオーケストラである九州交響楽団の活動を支援するとともに、九州の皆さまにプロのオーケストラに触れる機会を提供するため、同楽団による「九電ふれあいコンサート～みんなのクラシック～」を開催しています。

本コンサートは「本物の音楽を子どもたちへ届ける」をコンセプトに開催しているもので、有名なソリストと厳選された楽曲で、生のオーケストラの迫力をお伝えします。

2009年度からは、全日本学生音楽コンクール福岡大会の上位入賞者との共演に加えて、地元の中学校や高校の吹奏楽部を対象とした公開リハーサルの実施など、内容をリニューアルしました。



九電ふれあいコンサート(宮崎支店)



九電ふれあいコンサート(北九州支店)における楽器ふれあいコーナーの様子

TOPICS

わたしの絵コンクール
(鹿児島支店)

鹿児島支店は、魅力ある地域づくりや次世代層の育成を目指し、さまざまな文化支援活動を行っています。

この絵画コンクールもその一環として実施するもので、今回で18回目の開催となり、2009年度は、鹿児島県内在住の小・中学生の皆さんから、これまでで最多の10,317点のご応募をいただきました。

審査の結果、入賞者500名(九電賞9名、特選18名、入選473名)を決定し、鹿児島市立美術館等で入賞作品展を開催しました。



ラグビー部「キューデンヴォルテクス」の
地域共生活動

当社の「シンボルスポーツ」と位置づけるラグビー部では、地域の皆さまから愛され、親しまれるチーム創りを行うとともに、各地域の少年ラグビーチーム等への指導やイベントへの参加など、ラグビーを通じた地域スポーツの活性化に取り組んでいます。



大分ラグビー教室(於:大分市)



鹿児島ラグビー教室(於:鹿児島市)

事業活動を通じた取組み

電気の利便性を活かした農業技術の開発

当社総合研究所では、生物資源研究センターを核として、九州地域の農業振興を支援するため、農業分野へのヒートポンプ適用、光利用・栽培環境調節・栽培自動化・養液栽培技術など生産性向上に関する研究及び農産物の鮮度保持技術等に取り組んでいます。

● 農業分野へのヒートポンプ適用

省エネ技術として産業分野及び家庭用を中心に普及が進んでいるヒートポンプを農業分野の冷暖房空調に採用した温室栽培の研究に取り組んでいます。

今後は、社内営業部門や社外の関係者と連携し、重油ボイラーとのハイブリッド化など、農業向けヒートポンプシステムの最適設計やヒートポンプ単体の高効率化の取組みを行い、省エネ栽培技術の確立とCO₂の削減を目指します。



洋ラン栽培におけるヒートポンプ利用

● 光利用、栽培環境調節、栽培自動化、養液栽培などの技術

食糧自給率向上を目的として、計画的農業生産システムである植物工場が注目されています。当社は、1988年から植物工場に関する研究を実施しており、これまで得られた環境調節(温・湿度、光、炭酸ガス等)、栽培自動化、光利用、省エネ空調、養液栽培等の技術・ノウハウを基に、農業電化推進に向けた技術開発及び技術コンサル活動を展開しています。



当社開発の自動野菜工場
(左：完全人工光型、右：太陽光型)



光調節による夏茶生産での
旨味成分増加栽培



養液栽培による
パプリカ長期栽培試験

● 農産物の鮮度保持技術

低温貯蔵やCA貯蔵(庫内空気組成を低酸素・高炭酸ガスに調節)の利用により、九州特産青果物の出荷調整が可能となります。



農産物貯蔵装置

小水力発電を核とした地域活性化への取組み

土木部では、事業活動で培った知見を活かし、ハイドロバレー計画を検討している地方自治体などへの支援を実施しています。

ハイドロバレー計画とは、溪流やかんがい水路、水道用水路など、身近な水力エネルギーを有効活用して、数十～数百kW程度の小規模の水力発電所を建設し、発電所で発生した電力を利用(自家消費)して特色のある産業を興し、地域の活性化と雇用の創出を図るものです。

ハイドロバレー計画の実現にあたっては、国が設けた各種補助制度(調査費や建設費用の補助等)があり、これらを活用することで初期投資の負担を軽減できます。

具体的には、水力発電に関する知見、ノウハウを必要としている地方自治体などに、小水力発電導入の可能性調査や新エネルギー財団の実施する「中小水力開発促進指導事業基礎調査」への申請支援、発電計画検討の技術支援をグループ会社とも連携して行っています。



概念図

グループ会社における取組み

農業事業への参入(パイロット事業)を通じた地域活性化 ～(株)九電工の取組み～

当社グループ会社の(株)九電工は、2010年1月熊本県天草市において、オリーブ栽培に関する調査・研究事業について、天草市との協定を締結しました。

この事業は、エコ事業推進の一環としてスタートさせたもので、今後3年間をかけて約6,700本のオリーブを植樹・栽培しながら、①天草の気候・土壌にあった品種の選定・栽培技術の確立、②売れる商品の開発と販路開拓、③地元農家との協働の可能性について調査・研究を行います。

同社では、当事業を本格化させ、耕作放棄地の解消及び雇用促進などの地域振興につなげていきたいと考えています。



事業開始時の植樹祭の様子(右：橋田社長)